

大阪大学大学院工学研究科 大学院進学説明会参加者のみなさんへ

工学研究科は、現在、生命先端工学専攻、応用化学専攻、精密科学・応用物理学専攻、知能・機能創成工学専攻、機械工学専攻、マテリアル生産科学専攻、電気電子情報工学専攻、環境・エネルギー工学専攻、地球総合工学専攻、ビジネスエンジニアリング専攻の合計 10 専攻から構成されており、ほぼすべての工学分野における高度な教育と研究活動を行っています。

さらに工学研究科は、『輝く One & Only の個の集まりで、世界に羽ばたく No.1 の組織として、信頼を保証する教育・追従を許さない知の創造の増進・評価を受ける教育研究活動による社会への貢献』を目指しています。20 世紀は「工学」により技術革新によって著しい産業社会の発展をもたらしました。しかし、それと共に、地球温暖化、人口膨張と食糧危機、エネルギー源や希少金属などの資源の枯渇などの地球規模の課題をももたらしてきています。大学では、この工学という分野を通じて、地球と人類の調和をめざし、真の豊かさと共に安心・安全な社会を造り上げなければなりません。工学研究科では、新しい「知」を活用して、人々の持つ「夢をかたち」にする役割を果たすために、高度の専門知識を持つ創造的研究者と先進的技術者の育成を目指しています。特に、大阪大学は、官民挙げて設立された経緯からも、実学を重んじ、「知を生み、知を育て、知を発信して、社会に貢献する」ことを使命とし、自由で創造的な研究を行う学風のもと、多くの世界的な優れた研究成果を上げています。また優秀な創造力に富む研究者・技術者を育成するために工学研究科に所属する教員にとどまらず、産業科学研究所、接合科学研究所、レーザーエネルギー学研究センター、サイバーメディアセンター、超高圧電子顕微鏡センターなど、学内他部局から、また学外からも優れた教員を迎え、熱心な指導と活発な研究活動を行っています。

現在の工学研究科の入学定員は博士前期課程（修士課程）790 名、博士後期課程 184 名で、昭和 28 年の新制大学院の発足以来、工学修士の学位取得者は 28,229 名、工学博士の学位取得者は 7,281 名（うち、課程博士 4,340 名、論文博士 2,941 名）となっています（平成 28 年 3 月現在）。学部卒業生 44,585 名（平成 28 年 3 月現在）とともに、産官学各界において重要な役割を果たしています。大学院の標準修学年限は博士前期課程 2 年、博士後期課程 3 年ですが、優秀な学生は早期修了することもできます。

工学研究科において幅広い分野の様々な教育・研究活動が行われていることを理解していただくために大学院進学説明会を開催することになりました。是非ともこの進学説明会をご利用いただき、奮って工学研究科への入学を目指されることを願っております。

大阪大学大学院工学研究科長
田中 敏宏